

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

① 研究課題名	補聴器装用助成による QOL 改善効果に関するアンケート調査
② 対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	補聴器購入にあたって、自治体からの補聴器購入助成制度を利用し、アンケートに回答いただける方を対象とします。期間は、倫理委員会承認日～2027年12月31日までです。
③ 概要	<p>超高齢社会の現在、加齢による難聴罹患者は30%を超えると推定されています。しかし、緩徐に進行するため自覚症状にとぼしく、難聴発症後も自覚がないことが多く、わが国では補聴器適応と考えられる患者さんのうち、実際に補聴器を使用しているのは20%以下とされ、難聴を放置している患者が非常に多いのが現状です。難聴は、きこえのみならず認知機能への影響もあるとされ、適切な補聴器装用が重要ですが、補聴器は費用の面、イメージの悪さから、補聴器の購入率は低い状況です。そのため、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会新潟県地方部会では、2019年より各市町村へ認知機能維持のため補聴器購入費用助成の要望を開始し、2022年7月からは県内26市町村で助成実施となりました。今回、補聴器購入費助成の効果と補聴器の適切な普及のために今後改善していく点を抽出するために、アンケート調査による実態調査を計画しました。</p> <p>助成制度を利用して、補聴器装用をされる患者さんの中で、アンケートにご協力いただける患者さんを対象としています。アンケートは各研究協力機関で実施し、新潟大学耳鼻咽喉科へ送付されます。また、診療録から難聴の程度についての情報も併せて送付されます。</p>
④申請番号	2021-0053
④ 研究の目的・意義	補聴器装用患者さんの現状と補聴器購入費用助成制度の効果を調べることを目的とします。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2027年12月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	記入いただいたアンケートと聴力検査の結果が、個人情報かわからない状態にして、新潟大学耳鼻咽喉科へ送付されます。補聴器装用される方の現状と補聴器に対するイメージ、補聴器装用後の感想などをアンケートによって調査いたします。
⑧利用または提供する情報の項目	記入いただいたアンケート用紙、聴力検査結果
⑨利用する者の範囲	新潟大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室内で利用いたします。 新潟大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 泉 修司
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科 泉 修司
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。

所属：新潟大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

氏名：泉 修司

Tel：025-227-2306

E-mail：izumi@med.niigata-u.ac.jp